

最速で事態を収拾し、被害を最小限に抑える

危機管理フローの構築を



[現場責任者向け][ケースワーク] 危機管理・対応トレーニング研修

最速で事態を収拾し、被害を最小限に抑える

危機管理フローの構築を

[現場責任者向け][ケースワーク] 危機管理・対応トレーニング研修

研修概要

企業にとって、危機を発生させないリスク管理の重要性はいうまでもありませんが、それでも日々変化する環境の中、危機が発生する事もあるでしょう。本研修では、何かしら問題が起こってしまった際に、企業としての初期対応がどうあるべきか、それにより誤って危機的な状況に陥らないためにはどうすべきかを、実践的なケースを用いながら学びます。現場でリスク管理・危機管理において責任ある立場にある方はぜひご確認ください。

以下のような企業におすすめしています

- ▶ 企業としての危機管理体制を整えたいと考えている企業
- ▶ 危機発生時の対応フローが確立しておらず、基本的な知識から身につけたいと考えている企業

研修の効果

- ▶ リスク管理の4つのマトリクスとその対応方法について理解することができる
- ▶ 危機発生時の初期対応として、何をどう判断すべきかの判断軸を身につけることができる
- ▶ 危機発生時に具体的に求められる行動が理解できる

お客様のお声

- ▶ リスク管理の重要性は認識しているつもりだったが、危機感や適切な対応に関する知識が足りていなかったことに気づけた。
- ▶ 初期対応の大切さと、判断を誤ることの怖さが改めてわかった。自社の対応フローをもう一度見直してみたいと思う。
- ▶ 危機発生時に具体的に取るべき行動がよく理解できた。



研修カリキュラム

時間: 3時間~4時間

1. 「危機」とは何か

- ・リスク管理と危機管理の違い
- ・危機が拡大する要因

2. ワークショップ

- ・事例から学ぶ、危機管理
- ・4つの事例から学ぶ危機管理の問題点

3. 危機を拡大させないポイント

- ・リスク管理の重要ポイント
- ・リスク管理の4つのマトリクス
- ・危機発生時の初期対応

4. ワークショップ

- ・次のような危機が起きた際、どのように対応しますか？

5. 危機発生時の対応フロー

- ・危機発生時に判断すべき事
- ・危機発生時に求められる行動

6. 危機を起こさない組織づくり

このプログラムには多くのディスカッションが含まれています。研修内容は開催拠点により異なる場合がございます。

お問い合わせ



本研修に関する詳細、その他お問い合わせはコチラ！

<https://bit.ly/433h9xv>

支援企業実績 *順不同

組織開発
人材育成
支援実績
(累計)

20,000社以上

累計
受講者数
420万人以上

研修
テーマ数
1,200テーマ以上

*公開型研修開発テーマ累計

HITACHI
Inspire the Next

AsahiKASEI

Coca-Cola
BOTTLETS JAPAN INC.

NTT docomo

SCSK
夢ある未来を、共に創る。

YAMAHA

LINEヤフー

POLA

TAISEI
For a Lively World

JR
JR東海

LUMINE

VW

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

NEXCO
中日本

ANA
ANA Systems

CAPCOM®

松竹株式会社

ITOKI
明日の「働く」を、デザインする。

ADWAYS

ヤマサ

KUMON

セブン&アイ Net Media

cookpad

明治安田損害保険

健康は、進化する。
BATHCLIN
バスクリン

EBARA

BRIDGESTONE
ブリヂストンスポーツ株式会社

J!NS

JR九州

MITSUBISHI ELECTRIC
三菱電機エンジニアリング株式会社

KONAMI
SPORTS CLUB

DMM.com

MITSUBA

CMIC

ニチバン